

2014年5月16日

常磐線湯本駅が生まれ変わります

JR東日本水戸支社では、常磐線湯本駅の改良工事を実施します。豊かな自然と調和し、いわき湯本温泉郷の玄関口のイメージに合わせ環境にも配慮した駅舎にリニューアルし、地域の皆さま、観光に訪れたお客さま双方に愛される魅力ある駅を目指します。2015年4月のふくしまデスティネーションキャンペーンに合わせて使用開始(予定)し、新しい駅でお客さまをお迎え致します。

1 工事概要

■地域振興の促進、新たな観光資源の開発

～地域一体の駅づくりをコンセプトに、街と繋がる開放的な駅舎に生まれ変わります～

- ・イベントも開催可能な、市民・駅利用者に快適な待合いスペースを整備し、地域の交流の場を提供します。
- ・駅舎2階部分に物販等スペース、ギャラリーを設け、地元と連携して地域の魅力を発信します。
- ・ホームに足湯を設置し、温泉街のおもてなしとして演出し、憩いの場を提供します。
- ・公募で選定した副駅名称を付け、地元で親しまれる駅づくりと街のイメージアップを目指します。 【公募窓口】一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー(Tel:0246-44-6545)

■エコステモデル駅整備

～省エネルギー・再生可能エネルギー等の様々な環境保全技術を駅に導入します～

- ・太陽光発電設備を設置し、駅舎やホームで使用する電力を創出します。
- ・待合いスペースに温泉熱を利用した床暖房設備を設置します。また、暖房で利用した温泉は足湯として再利用します。
- ・LED照明等を取入れ、駅全体でCO₂排出量を約22%削減します。

■駅舎耐震補強

～駅舎の耐震補強工事を行い、災害に強く安心してご利用頂ける駅を実現します～

2 工事期間

2014年5月から2015年3月(予定)

《施設概要(既存駅舎)》

- ・建設年 :1967年(経年:47年)
- ・構造 :RC 造2階建(ラーメン構造)
- ・延べ床面積 :556.4㎡

《完成イメージ》

